

第177号
昭和40年1月1日
昭和29年10月15日
第三種郵便物認可
毎月1日発行
定価1部3円

○本誌所載事項(白)
○社外掲載(白)
○委託印刷(白)
○委託印刷(白)

1月の広報(よみ)

本報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市幸1-900
編集兼発行人
佃三郎
株式会社文通印刷
全世帯配布

の人口現在
小田原市
1月1日現在
2月1日現在
66,371人
70,106人
人口男女別
男 30,000人
女 315人増
世帯人口
男 174人増
女 141人増
世帯人口
男 143世帯増
女 143世帯増

年頭所感

小田原市長 鈴木十郎



昭和四十年の新年を迎え、市民の健康と心を喜びました。わが市の発展と心と喜びました。昭和四十年の新年を迎え、市民の健康と心を喜びました。わが市の発展と心と喜びました。



面目を一新した小田原駅西口広場から小田原城天守閣を望む

年頭のことば

小田原市議会議長 山橋勝蔵



昭和四十年の新年を迎え、市民の健康と心を喜びました。わが市の発展と心と喜びました。昭和四十年の新年を迎え、市民の健康と心を喜びました。わが市の発展と心と喜びました。

心配ごと相談

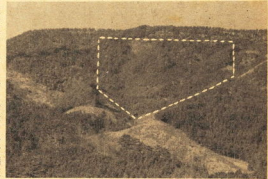
1月5日・12日・19日・26日

午前9時～午後3時

市立青少年補導所

市営霊園の建設はじまる

久野山の一角に公園式墓地



白い点線内が霊園建設地

久野山の一角に公園式墓地の建設がはじまる。この墓地は、市営霊園として、公園式に建設される。建設地は、久野山の一角にあり、面積は約十ヘクタールである。この墓地は、公園式に建設されるため、環境にやさしく、美しい景観を演出する。建設は、今年度から始まり、来年には完成する予定である。

漁港管理条例など議決

一般会計で六千九百万円を追加

市議会が、漁港管理条例、一般会計追加予算案などを議決した。漁港管理条例は、漁港の整備と管理に関する規定を定めたものである。一般会計追加予算案は、六千九百万円を追加するもので、漁業振興、都市開発などに充てられる。議決は、一月十日の夜開会で行われ、賛成多数で通過した。

市議会は、一月十日の夜開会を行い、漁港管理条例、一般会計追加予算案などを議決した。漁港管理条例は、漁港の整備と管理に関する規定を定めたものである。一般会計追加予算案は、六千九百万円を追加するもので、漁業振興、都市開発などに充てられる。議決は、一月十日の夜開会で行われ、賛成多数で通過した。

四月から操業開始

懸案のし尿処理問題近く解決

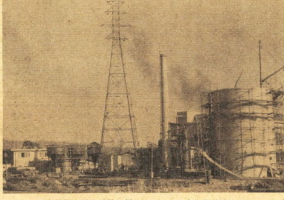
市が、し尿処理場の建設が完了し、四月から操業開始する。この処理場は、長年懸案となっていたし尿処理問題の解決に大きく貢献する。建設費は約一億円で、処理能力は一日あたり十立方メートルである。操業開始後は、市内のし尿処理が大幅に改善される見込みである。

国連協会会員募集

正会員(年額) 二〇〇円
 副会員(年額) 一〇〇円
 中地区(国連協会本部) 五〇円
 電話一本のみの内部会費

建設だより

市営霊園建設地、公園式に建設される。建設費は約一億円で、処理能力は一日あたり十立方メートルである。操業開始後は、市内のし尿処理が大幅に改善される見込みである。



一部施設の造水試験が行なわれている高速化学処理場

潜水病再圧タンク 市立病院などに設置

市立病院などに潜水病再圧タンクを設置する。このタンクは、潜水病の予防と治療に重要な役割を果たす。設置場所は、市立病院、消防局、救急センターなどである。費用は約一千万円である。

本年度沈砂池など建設

本年度、沈砂池、排水機場、下水管などを建設する。これらの施設は、都市の排水システムを改善し、水質汚染を防止するために必要である。建設費は約五千万円である。

市民税 第4期分 納期限 2月1日

市民税 第4期分 納期限 2月1日。納付先は、おだわら市役所。納付方法は、現金、振込、口座引落などがある。滞りなく納付してください。

